

令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 福島県 】

学校名【 郡山市立安積第三小学校 】

1 実践テーマ	I ・ II ・ III ・ IV ・ V (複数選択可)
2 実施対象者 (学 年 ・ 人 数)	全校生382名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名(体育科) ② 行事名() ③ その他() (2) 地域における活動 ① イベント名() ② その他 ()
4 目 標 (ねらい)	オリパラ大会をきっかけとして、陸上競技やボッチャ体験を行い、スポーツに対する興味・関心を高めるとともに、スポーツや運動に進んで親しもうとする児童を育てる。
5 取組内容	5 月 ○校内推進委員会の設置 ・事業計画の立案 ・推進テーマの正式決定 6 月～9 月 ○講師の選定と交渉、日時の決定、 ○講師決定、派遣申請の提出 11 月 2 日 ○体育・実技講習(4～6 年)「より楽しく、より速く走るために」 講師：千葉 麻美 氏【陸上競技：400M走日本記録保持者】



	11月4日 ○体育・実技講習(1年)パラリンピック競技体験会「ボッチャ」 講師:丸山内 雄大 氏 11月11日 ○体育実技講習(2,3年)パラリンピック競技体験会「ボッチャ」 講師:丸山内 雄大 氏  11月～12月 振り返り(各学年)
6主な成果	オリンピック・パラリンピックの後の体験教室だったので、意欲的に参加することができた。特に下学年のボッチャ体験では、パラリンピックを見て始めて知ったスポーツであり、障がい者が楽しくスポーツに参加することができるルールに関心を持つ児童が多かった。 事後の振り返りでは、「走ることがとても楽しかった。これからの自分の走りに生かしていきたい。」「ボッチャは体の不自由な人でも楽しく運動できるルールになっていることに驚いた。これからいろいろな人とボッチャをやっていきたい」という感想を持つ児童も多かった。
7実践において工夫した点(事業の特色)	本校は走ることが好きな児童が多い。昨年度に引き続き、陸上教室を実施したので、児童は走るポイントを再確認しながら参加することができた。 1月に公民館主催のボッチャ体験教室を実施することとなり、学年の枠を超えた交流体験を行うこととなった。公民館主催行事であることから、今後はボッチャを通して、地域の方、様々な世代との交流が広がっていくと思われる。
8主な課題等	コロナ渦の中での講師招聘が難しかったので、陸上教室、ボッチャ教室の開催が11月になってしまった。オリパラ開催の直前、直後に実施できれば、児童の関心をさらに高められたように思われ、残念であった。
9来年度以降の実施予定	来年度も陸上教室で講師として招聘した千葉氏に指導していただき、児童に走る楽しさを体感させていきたい。また、ボッチャの楽しさを味わった児童や特別支援学級児童から、ボッチャをもっとやってみたいとの要望が多く出された。そこで、競技セットを2セット購入し、学級活動や体育の時間に活用するようにした。次年度は、異学年や地域の方々との交流としてボッチャを実施して、スポーツの楽しさをよりいっそう味わわせていきたいと考える。